

春日井市
環境報告書

平成27年版



【概要版】



夏休み自然観察会



太陽光発電システム(東部調理場)



エコッキング教室

環境報告書とは

環境報告書は、計画の進行管理を適切に行うため作成しており、環境基本計画に基づき、環境目標を実現していくため実施した取組みと、地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス削減目標の実現に向けて実施した取組み及び温室効果ガス排出量実績をまとめたものです。

本冊子は、環境報告書の主要なデータを抜粋したものです。

環境基本計画の実施状況

第1章 環境基本計画の概要

○計画の体系

○環境像

みろくの森から道風の里まで
蛙の合唱消えぬ道
暮らしと出会いを大切にすまち

○環境目標(4項目)

- 1 住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井
(都市・社会基盤に関すること)
- 2 豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井
(自然・風土に関すること)
- 3 美しい地球を守る、地域のしくみがいぎづくまち・春日井
(くらし・低炭素・資源循環社会に関すること)
- 4 ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井
(学習・ネットワークに関すること)

○まちづくりの目標(9項目)

○取組みの目標(25項目)

○基本的施策(75項目)

○具体的取組み(214項目)

○主体別環境配慮(市民・事業者の取組み)

○重点的取組み(第3期に向けて)

○地域別環境配慮

○計画の推進

○数値目標(6項目)

- 1 雨水浸透率
- 2 みどり率
- 3 ごみ廃棄量
- 4 温室効果ガス排出量
- 5 環境基準達成率
- 6 環境まちづくり参加人数

第2章 環境に関する施策

環境目標を実現していくため、214項目の「具体的取組み」に関して、平成26年度にさまざまな環境に関する施策を実施しました。主な取組みは次のとおりです。

第1節 住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井

○公共工事における透水性舗装施工

上条町の上水道配水管布設替工事において1,197㎡を、また、東神明配水場配水池築造工事において556㎡を透水性舗装で新たに施工しました。

○ファミリーエコドライブ講習会

エコドライブや安全運転について実技を通して学ぶ「ファミリーエコドライブ講習会」を7月に開催しました。

○緑のカーテン育成講座

実演・実習を交えた「緑のカーテン育成講座」を市内4か所で開催しました。



ファミリーエコドライブ講習会



緑のカーテン育成講座

第2節 豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井

○小学校校庭芝生化事業

小学校と地域の協働により味美小学校の校庭の一角約500㎡を芝生化しました。



校庭芝生化(味美小学校)

○PS会議市民団体会員による環境保全活動

市民・事業者・市の三者協働組織である「かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議(PS会議)」の各市民団体会員により「野外活動におけるネイチャーゲームの指導」、「市民憩いの森プロジェクト」等の環境保全活動が実施されました。



市民憩いの森プロジェクト

○MY行動宣言

4、5月に開催した第4回緑と花のフェスティバルにおいて自然体験コーナーを設け、生物多様性を守るための行動として「MY行動宣言」を啓発しました。

第3節 美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井

○家庭用生ごみ処理機購入費補助

生ごみの資源化を促進するため家庭用生ごみ処理機44台分の購入費の一部を補助しました。



太陽光発電システム設置住宅

○住宅用地球温暖化対策機器設置費補助

住宅用地球温暖化対策機器の設置に対し、「太陽光発電システム」を497件、「太陽熱利用システム」を13件、「燃料電池システム」を41件分それぞれ設置費の一部を補助しました。



エコオフィス認定ステッカー

○かすがいエコオフィス認定制度

環境に配慮した取組みを自主的かつ積極的に行っている事業所を「かすがいエコオフィス」として、新たに3事業所(株ティーイーティー、(株)春水園、中部精機(株)本社)を認定しました。

第4節 ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井

○エコワールド

春日井まつりにおいて、市民・事業者・市が協力して、地球温暖化などの環境問題について、紙風車作り・LEDあかり工作などを通じて、啓発を行いました。



エコワールド

○エコツアー

クリーンセンターのバックヤードツアーやわしょく屋でサポテン料理、内々神社の紅葉見学など、環境や地域の観光資源について学ぶエコツアー「かすがいの秋を探訪!」を11月に開催しました。



エコツアー

○あいち・なごやESD交流フェスタ

11月に開催したESDユネスコ世界会議併催イベント「あいち・なごやESD交流フェスタ」において、ESDに関する市の取組みについてのブース展示を行いました。

第3章 数値目標

4つの環境目標の実現に向け、目標の達成状況を分かりやすいものにするため、6つの数値目標を設定しています。平成26年度の数値目標の達成状況は、次のとおりです。

項目名	基準年度	数値目標		平成26年度
雨水浸透率	—	0.36以上		0.374
みどり率	—	将来市街地	10%以上	26.1%
		市域全体	30%以上	42.0%
ごみ廃棄量	平成22年度	ごみ排出量	130g削減 (1人1日あたり)	73g削減
		家庭系ごみ排出量	15%削減	12.2%削減
		事業系ごみ排出量	20%削減	2.8%削減
温室効果ガス排出量	平成20年度	市内全域	17%削減	6.6%増加 (平成25年度実績)
環境基準達成率	—	大気6項目、水質4項目、騒音2項目(全12項目)における各項目の達成状況	各項目で 100%達成	10項目達成
環境まちづくり参加人数	—	環境に関するイベント等への参加人数	総人口の10%	14.6%

第4章 重点的取組み

市が主体となり推進すべき「重点的取組み」の実施状況についてまとめています。平成26年度の主な重点的取組みは次のとおりです。

第1節 地球環境を保全する(低炭素社会)

○公共施設への太陽光発電システムの設置

公共施設である「東部調理場」の屋上に30kWの太陽光発電システムを設置し、また、「総合保健医療センター」の屋上を市内業者に貸し出し47.5kWの太陽光発電システムを設置しました。



太陽光発電システム(東部調理場)

○「環境コミック 春日井の未来」出前講座

小学生を対象に省エネルギーや地球温暖化対策など、次代を担う子どもたちに春日井市の未来を考えてもらうため作成した環境啓発誌「環境コミック 春日井の未来」を用いて、市内小学校(6校)で出前講座を実施しました。



出前講座(東野小学校)

○昼涼みプロジェクト

文化フォーラム内にキッズコーナーを設け、絵本や玩具、塗り絵などを設置し、電力需要が高まる夏の日中に公共施設に集まり家庭での節電を呼びかける「昼涼みプロジェクト」を実施しました。



昼涼みプロジェクト

第2節 自然を守り自然に親しむ(自然共生社会)

○自然環境保全活動推進員

希少種保護の巡回活動など自然環境の保全を推進する「自然環境保全活動推進員」を25名委嘱し、6日間の養成講座、推進員相互の情報交換の場として6回の連絡会議、5月、11月、1月にステップアップ講座を開催しました。



ステップアップ講座

○自然観察会、自然環境学習会

7月に五感を使って生き物に触れ合う夏休み自然観察会「庄内川でガサガサ探検」を、11月に潮見坂平和公園で身近な自然観察と工作をする「秋の自然環境学習会」を開催しました。



秋の自然環境学習会

○少年自然の家周辺での取組み

自然環境に恵まれた少年自然の家周辺において、四季折々の自然に触れる「わくわく自然ランド」、雑木林の手入れを通して里山の生物多様性を考える「自然学校」、自然体験から身近な自然環境に親しむ「あそびむしくらぶ」、年間を通して里山の環境保全について体験して学ぶ「里山体験(田んぼと森の学校)」を実施しました。



自然学校

第3節 ごみを減らし資源を有効に活用する(資源循環社会)

○エコメッセフェスタ

エコメッセ春日井において、クリーンセンターバックヤードツアーやエコ料理教室等の体験学習を行う「エコメッセフェスタ」を11月に開催しました。



エコメッセフェスタ

○青空教室

ごみ処理の状況、ごみの減量、リサイクルの必要性などを説明するとともに、ごみ収集車にごみを積み込む体験をしてもらう「青空教室」を小学4年生(38校)及び保育園児(45園)を対象に実施しました。



青空教室(丸田小学校)

○環境カレンダー

「環境家計簿」と「資源・ごみ出しカレンダー」を組み合わせた「環境カレンダー」を作成し、広く市民に配付することにより、資源分別、ごみの減量や省エネが地球温暖化防止につながる取組みであることを啓発しました。



環境カレンダー

第4節 市民と事業者、行政が協働して環境まちづくりを進める(連携・協働)

○エコライフセミナー

8月に「～竹で水鉄砲作り、水を飛ばして暑さを吹き飛ばせ～」を、12月には「ハイブリッドカー工作教室！～親子で遊びながらエコについて学ぼう～」を、また、1月には「段ボールおもしろ親子教室」を開催しました。



エコライフセミナー(ハイブリッドカー工作教室)

○市民環境フォーラム

PS会議と協働で、環境に対する意識啓発を目的としてかすがい環境賞表彰やクッキーズスペシャルによるファミリーエコミュージカルなどを行う「市民環境フォーラム」を共催しました。



市民環境フォーラム

○PS会議の活動

岐阜県恵那市のアライダシ原生林をツアーガイドしてもらい自然保護の大切さを学ぶ「夏の森林浴ツアー」や東邦ガス(株)の協力のもと春日井産のサボテンを使用し地産地消などについて学ぶ「エコ・クッキング教室～親子で楽しく料理をしよう～」、東春信用金庫との協働により高蔵寺駅周辺で清掃活動を行う「とうしゅんエコ・ウォーク2015」などを開催しました。



PS会議自主イベント(夏の森林浴ツアー)



地球温暖化対策実行計画の実施状況

第1章 地球温暖化対策実行計画の概要

平成24年3月に「春日井市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市内全域に係る温室効果ガス排出量の削減目標と施策を位置付けています。本計画の基準年度、目標年度は次のとおりです。

基準年度 : 平成20(2008)年度
 中期目標 : 平成32(2020)年度までに、市内全域の温室効果ガス排出量を17%削減
 長期目標 : 平成62(2050)年度までに、市内全域の温室効果ガス排出量を60%削減

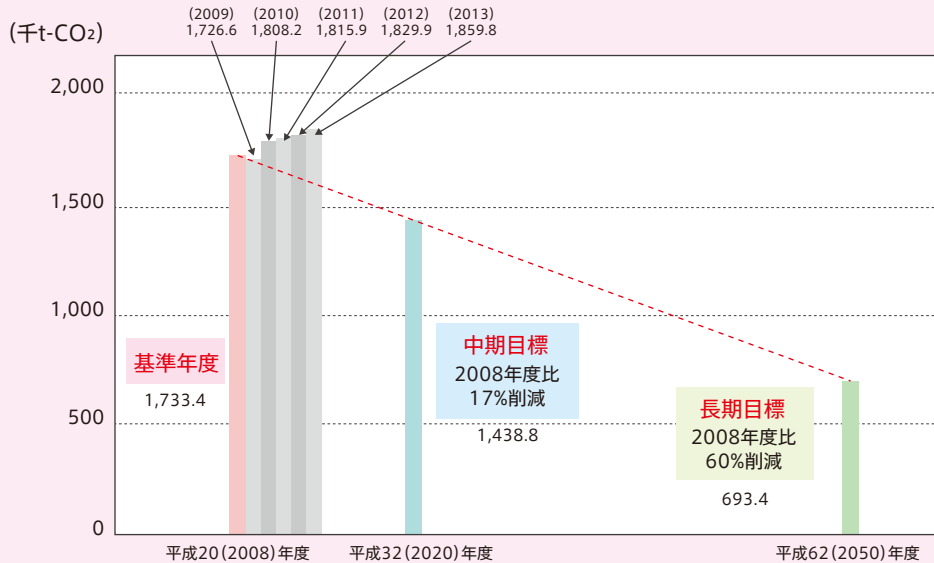


図1：温室効果ガスの排出量・削減目標

第2章 温室効果ガス排出量

平成25(2013)年度の温室効果ガス排出量は、1,859.8千t-CO₂であり、基準年度に比べ7.3%増加しています。また、市民一人あたりの排出量は、6.00t-CO₂であり、基準年度から6.2%増加しています。

増加の主な要因は、各部門とも、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響が大きく、原子力発電所の停止が大きな要因になっております。

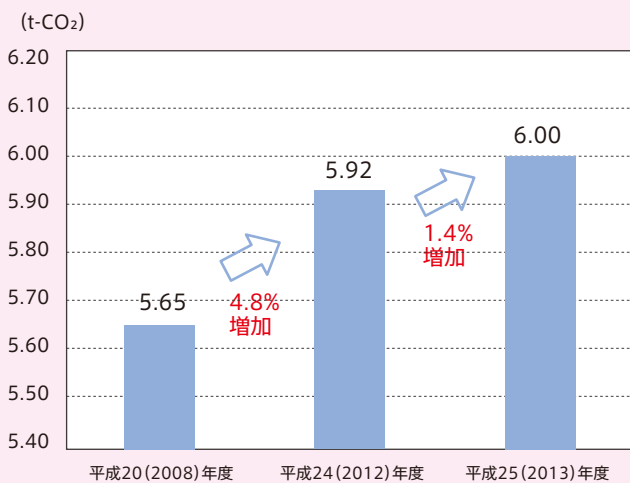


図2：市民一人あたり排出量の推移

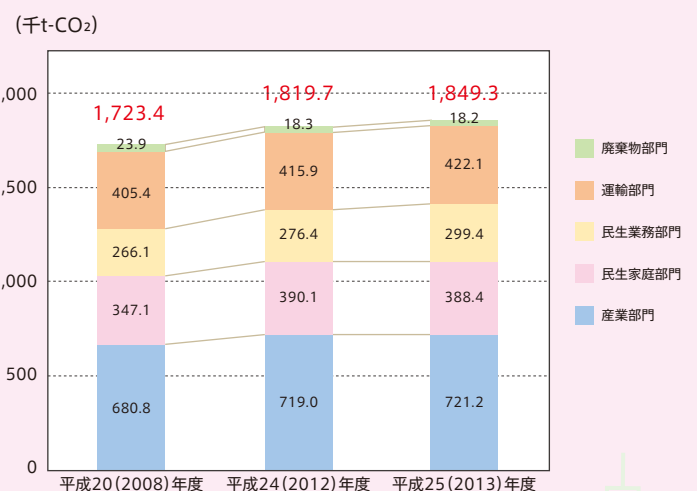


図3：部門別二酸化炭素排出量の推移

第3章 主な取組みの実施状況

市民、事業者、市が共通の目標を持ち、その達成に向けた地球温暖化対策を推進するため、61項目の「主な取組み」に関して、平成26年度にさまざまな取組みを実施しました。主な取組みは次のとおりです。

○太陽光発電システムの設置

再生可能エネルギー導入の推進として、公共施設において、「総合保健医療センター」及び「東部調理場」の屋上に太陽光発電システムを設置しました。年間CO₂削減量は、それぞれ15.0t、9.5tです。



太陽光発電システム(総合保健医療センター)

○エコライフDAY

毎月第1水曜日を「エコライフDAY」と定め、市民生活や事業活動の中でできる地球温暖化対策や節電対策等の取組みの実施を啓発しました。



エコライフDAY啓発チラシ

○スマートグリッドによるエコキャンパス

中部大学において太陽光発電設備や蓄電池等を設置して、電力の供給側と需要側の両方から制御し、最適化するスマートグリッドがキャンパス内の一部に導入されました。



中部大学(蓄電池)

第4章 数値指標

地球温暖化対策実行計画では、計画に基づき施策を展開し、その成果を評価するため、基本施策ごとに4つの数値目標を設定しています。平成26年度の現状値は次のとおりです。

指 標	目標値 (平成32年度)	現状値 (平成26年度)
太陽光発電システムを設置している世帯の割合	15%	4.4%
家庭における高効率給湯器の導入率	16%	6.6%
次世代自動車などの導入促進	燃費22.0km/ℓ	燃費21.3km/ℓ (平成25年度実績)
ごみの資源化率	30%	23.9%

春日井市 環境部 環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44

電話: 0568-85-6216 FAX: 0568-84-8731

Eメール: kansei@city.kasugai.lg

ホームページ: <http://www.city.kasugai.lg.jp/gomi/houkoku/index.html>